《佐敷小学校スタートカリキュラムについて》

◎スタートカリキュラムとは

幼児期に遊びを通して育まれた力を生かして、教科等の学習に円滑に接続するための 小学校入学当初のカリキュラムのことです。実施に当たっては、生活科を中心として、 合科的・関連的な指導を行うことや、弾力的な時間設定を行うことなどが学習指導要領 総則に規定されています。

◎「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」















- •「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が、存分に発揮できるような指導を工夫する。
- •「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点として、ひとり一人の子どもや学級 学年の様子を見とる。

◎佐敷小学校スタートカリキュラムの柱

- 生活科を中心とした、合科的・関連的な指導
- 弾力的な時間割の設定
- 場の設定(フロアマットの活用)ロビーにフロアマットを敷き、のんびりタイムやなかよしタイムで活用する。





◎遊びや生活、学習の4類型

のんびりタイム (朝の時間)

朝の支度を終えたら、のんびりと自由遊びをする時間。 (お絵描き・折り紙・絵本読み など) 園での生活のように、自由遊びから1日をスタートさせ ていくことで、楽しさと安心感を感じる。

なかよしタイム

安心して学校生活を送るために、担任や友達など新しい 人間関係を築くための活動の時間。学級・学年で、読み 聞かせや体を動かすことを楽しむ。また、元気調べ(健康 観察)やグループでお話をする・聞くなどの活動も行う。

わくわくタイム

生活科を中心として合科的・関連的に学習する時間。 なかよしタイムでのことをきっかけに、学びの芽を広げ ていく。自由に校内の行きたいところへ探検に行かせる 等、子ども達の思いや願いに沿った学習や体験活動を 行う。

ぐんぐんタイム

教科等の学習の時間。前を向いて一斉に受ける授業だけではなく、グループやペアで交流しながら行う。10分から15分程度の短い時間で時間割を構成したり、子ども達の思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めていけるよう、2時間続きで設定したりする。

	4月第1週	4月第2週	4月第3週	4月第4週	5月以降
朝の時間	のんびりタイム	のんびりタイム	のんびりタイム	のんびりタイム	のんびりタイム
1 校時	なかよしタイム	なかよしタイム	なかよしタイム	なかよしタイム	わくわくタイム
				わくわくタイム	
2 校時			わくわくタイム		ぐんぐんタイム
		わくわくタイム		ぐんぐんタイム	170 170 J T A
3 校時	わくわくタイム				
			ぐんぐんタイム		
4 校時		ぐんぐんタイム			
	ぐんぐんタイム				
5 校時	給食・清掃後 13時頃下校になります。				

◎入学後4週間のカリキュラムイメージ(佐敷小学校スタイル)

合科・関連させた教科を徐々に分化し、教科等学習へ移行

◎週の計画と時間配分を工夫する

弾力的な時間割の設定の工夫をする。生活リズムや一日の過ごし方に配慮するために、「なかよしタイム」を朝の会から1時間目を連続した時間として設定したり、「ぐんぐんタイムは10分~15分程度の短い時間を活用したり、集中力が続きやすい2時間続きの学習活動を位置づけて、計画をしています。

※佐敷小学校では、①4月~連休頃まで ②2学期始めの1週間 の2つの期間を設定し、学校は楽しい と実感して貰うようなな計画をしてい います。